

1 次世代層へのエネルギー・環境教育の展開

「九電みらいの学校」*の一環として、エネルギー・環境への関心を育む活動を、九州各地で展開しています。

*:「わくわく、かがやく」をスローガンに、エネルギー・環境教育をはじめ、文化・芸術・スポーツの分野において、様々な活動を行う次世代層支援プロジェクト。

WEB 詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) > 九電みらいの学校

(1) エコ・マザー活動

子どもたちへの環境教育支援と、ご家庭における環境教育の担い手である保護者の皆さまへの環境情報提供を目的として、「エコ・マザー活動」を展開しています。

この活動は、九州各地で、地域のお母さま方が「エコ・マザー」として保育園などを訪問し、環境問題への「気づき」となる環境紙芝居の読み聞かせなどを行うことを通じ、小さなお子さまに環境に配慮することの大切さを伝える活動です。

2003年度から開始したこの活動は、2012年度までに2,408回実施し、およそ16万名のお子さまや保護者の皆さまにご参加いただきました。

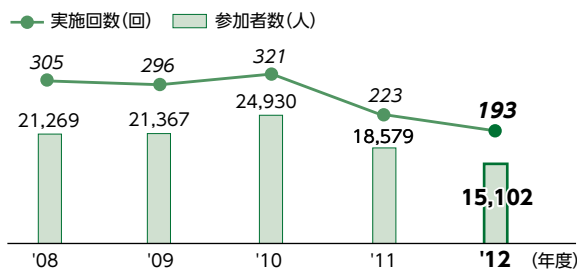


杉の子保育園 (福岡県北九州市)

用語集を
ご覧ください

- エネルギー・環境教育
- 地球温暖化

エコ・マザー活動実績

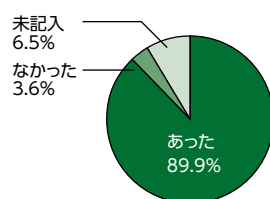


WEB 詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) > エコ・マザー活動

■ 参加いただいた幼稚園・保育園の先生や保護者の声

エコ・マザー活動にご参加いただいた幼稚園等の先生や保護者の方からは、「園児から『もったいない』という言葉をよく聞くようになり、節電に協力的になった」、「子どもたちが身近に体験できる環境活動をこれからも続けて欲しい」等の声をいただいています。

エコ・マザー活動実施後の子どもの変化 (2012年度)



■ 活動ツール

省エネルギーや環境問題について、以下の2つのお話をもとにお子さまたちにペープサート(紙人形劇)や紙芝居を実演するとともに、保護者の皆さまにはその内容と、ご家庭で取り組むことのできる省エネ活動などが記載された冊子を配布しています。

「もったいないはちきゅうをまもるココロパ!」



【ストーリー (省エネルギーを題材とした紙人形劇)】

つけっぱなしにして出かけたことで、「たくちゃん」一家のテレビが熱で真っ赤になり、他の家電製品たちも大騒ぎ。この出来事を通じて、一家が省エネに目覚める物語。

「もりじいとなかまたち」

【ストーリー (環境問題を題材とした紙芝居)】

幼い兄妹が、「森の大木」や「雲」、「清流」など「自然の仲間たち」から、地球温暖化や河川の汚染などの環境問題で困っていることを聞かされ、「環境を守るために自分たちにもできること」を考え、行動へのきっかけとする物語。



(2) 環境教育支援活動

学校教育や市民活動における環境教育支援の一環として、女子畑発電所ダム周辺にある「女子畑いこいの森」(大分県日田市)や、「山下池周辺の社有林」(大分県由布市)において、当社が持つ豊かな自然環境を活用した環境教育支援活動を市民団体の皆さまと協力しながら展開しています。

「女子畑いこいの森」においては、2002年度から女子畑発電所ダム周辺の植樹地及び自然を活用して、「自然観察会」、「木工教室」、「エネルギー教室(水力発電所や地熱発電所の見学)」など体験型の環境教育支援活動を実施しています。また、2006年度からは「山下池周辺の社有林」における自然観察会を追加し、内容を充実しています。

2002年度からこれまで、およそ100団体、3,500名以上を受け入れました。

WEB 詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) > 環境教育支援活動



山下池周辺の社有林での自然観察会の様子



用語集をご覧ください

- ステークホルダー
- 社有林

(3) 出前授業

エネルギー・環境問題などについて、楽しみながら学んでもらう事を目的に、九州各地で出前授業を実施しています。2012年度は、小・中学校等で349

回の出前授業を実施し、13,478名の子どもたちとエネルギーや環境について考えました。

出前授業担当者の声

未来を担う子どもたちに「電気の大切さ」を伝えていきます

長崎お客さまセンター
佐世保営業所 計画グループ
まつした あすか
松下 明日香



出前授業の講師となりもうすぐ2年が経ちます。初めての授業の前は「楽しんでもらえるだろうか?」「興味を持ってもらえるだろうか?」という緊張や不安から、大好きな食べ物も喉を通りませんでした。

しかし、いざ授業を始めると、目をキラキラと輝かせながら実験道具を手にとる子どもたちの笑顔が教室いっぱい溢れていました。子どもたちは授業を通して、電気が生活に欠かせないことや発電にはたくさんのエネルギーが必要なことを自然と感じ取ってくれるのだとわかりました。

子どもたちから「寝る前にはブレーカーを切る!」という宣言が飛び出すなど、一人ひとりが省エネについて真剣に考えてくれることが、何よりの喜びです。

これからも、子どもたちと一緒に楽しみながら、しっかりと電気の大切さを伝えていきます。



出前授業風景

2 九州ふるさとの森づくり

地域の皆さまと一緒に「九州ふるさとの森づくり」を各地で展開しています。

WEB 詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) ▶九州ふるさとの森づくり

「九州ふるさとの森づくり」は、当社創立50周年を記念して2001年度から取り組んでいる植樹・育林(下草刈)活動であり、低炭素社会実現への寄与や生物多様性の保全を目的として九州各地で展開しています。2012年度は、約5千名の皆さまのご協力により、36か所でおおよそ2万1千本の植樹や育林活動を実施しました。

なお、これまでの12年間でおよそ117万本を植樹し、延べ約14万人の方々にご参加いただきました。



「みんなで創ろうーツ葉の森林」植樹祭(宮崎市)

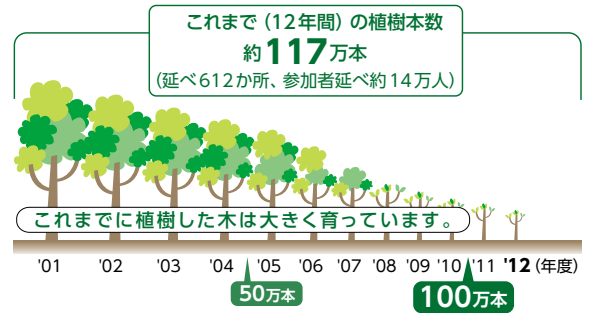
用語集を
ご覧ください

- 低炭素社会
- 生物多様性

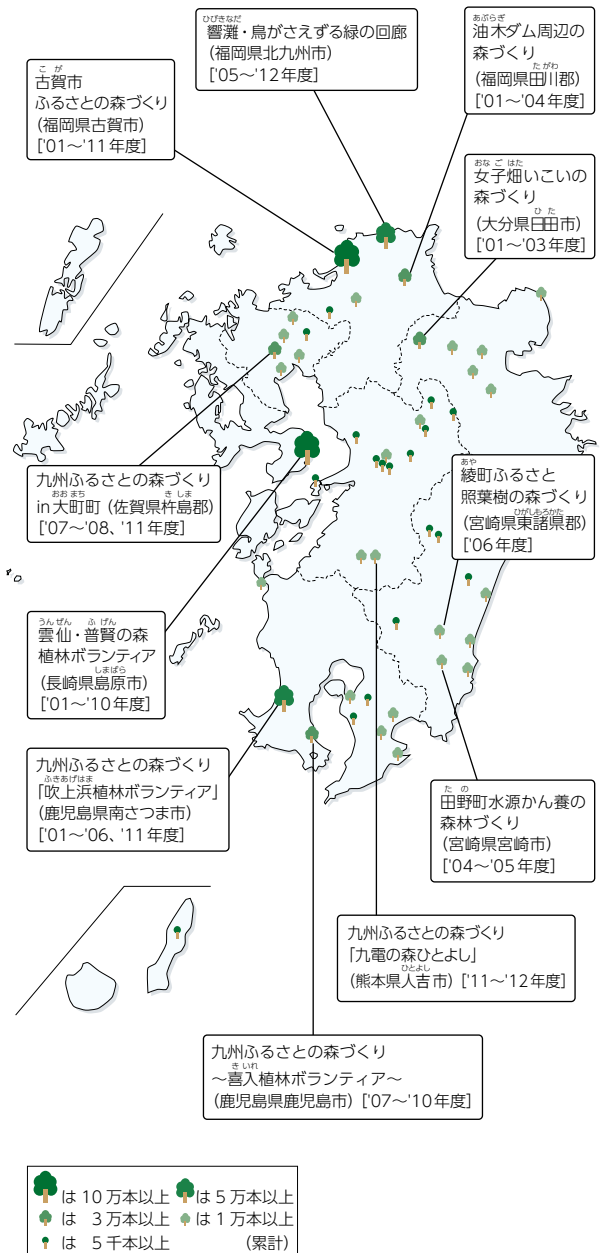
主な活動実績(2012年度)

	地区	計画名	参加者数(人)	本数*(本)
植樹活動実施箇所	北九州	響灘・鳥がさえずる緑の回廊 第8回植樹会	1,000	7,000
	熊本	九州ふるさとの森づくり 「九電の森ひとよし」	510	10,000
	その他	・「みんなで創ろうーツ葉の森林」 植樹祭(宮崎) からほま ・唐浜白砂青松の森づくり(鹿児島) など、九州各地14か所を実施	1,310	4,400
育林活動実施箇所	福岡	古賀市ふるさとの森づくり (夏・秋2回開催)	1,250	/
	佐賀	「ふるさとの森づくりin白石町」 育樹作業(夏・冬2回開催)	160	
	その他	・「九電みらいの森(長崎)」 など、九州各地16か所で 下草刈を実施	860	
合計	36か所 (植樹16か所、育林活動20か所)		5,090	21,400

※本数は、当社提供分のみ記載。



これまでの主な植樹箇所(累計5,000本以上)



■ その土地本来の樹種による森づくり

その土地本来の森は、豊かな生物多様性を維持し、水源涵養、土砂災害の防止、保健休養の場の提供など、様々な公益的機能を果たしています。「九州ふるさとの森づくり」では、将来的に人の手があまりかからない、九州の自然植生であるシイ・タブ・カシ類を中心とした、その土地本来の樹種による森づくりを行っています。



「九電の森ひとよし」植樹活動 (熊本県人吉市)

■ 育林活動

植樹した苗木の成長を助けるため、植樹後3年程度、育林活動(苗木の周りの下草刈)を地域の皆さまと一緒にやって行っています。



響灘・鳥がさえずる緑の回廊 育林活動 (福岡県北九州市)

■ 密植・混植を行った植樹地の経年変化の様子

より早く、その土地本来の森が形成されるように、密植(1㎡あたり2~3本程度植樹)・混植(複数の樹種の組み合わせ)を基本とする植樹に取り組んでいます。この方法を採用した植樹地の多くが、密植・混植を行わなかった箇所以上の生育を見せており、年を経るにつれ、その効果が現れています。



植樹時



11年後 (古賀市ふるさとの森づくり (福岡県古賀市))

森づくり担当者の声

**「立派な森に育ちますように」
みんなの想いが込められた植樹活動を行っています。**

熊本支社 企画・総務部
企画総務グループ
やまぐち みほ
山口 美穂



熊本支社では、県内各地において、12年間で15万7千本の植樹を行ってきました。

植樹活動は、家族で楽しく環境について学ぶことのできる絶好の場です。毎年、地域の多くの子供たちに参加いただき、「立派な森に育ちますように」と願いを込めながら、一本一本丁寧に植樹を行います。その中で、参加者同士が協力し合い、笑顔あふれる活動となっています。

みなさんの想いが込められた苗木が森となり、みなさんの笑顔があふれる瞬間に、喜びややりがいを感じています。今後も、地域のみなさまと、環境保全活動に取り組んでいきたいと思っております。



用語集をご覧ください

- ステークホルダー
- 水源涵養

3 環境コミュニケーションの推進

環境保全に関するボランティア活動への参加や環境月間行事の実施などにより、地域の皆さまとの環境コミュニケーションに取り組んでいます。

■ 環境保全に関するボランティア活動への参加

大分支社では、坊ガツル湿原^{ぼく}における野焼き活動について、1999年に地元関係団体などととも「坊ガツル野焼き実行委員会」を発足させ、以降、毎年ボランティアとして委員会の運営や、野焼き活動への協力を続けています。

また、くじゅう連山では、地域の皆さまとともに2011年からミヤマキリシマの保護活動を実施しています。

野焼きによる湿原保全やミヤマキリシマの保護活動を通じて、「人が手を加えながら、自然を維持していく」ことに貢献していくために、今後とも、地域の皆さまと一体となって環境保全活動に取り組んでいきます。

なお、「くじゅう坊ガツル・タデ原湿原」(大分県竹田市、九重町)は、2005年に国際的に重要な湿地を保全するラムサール条約に登録されています。

用語集を
ご覧ください

- 環境
コミュニケーション
- ラムサール条約
- 生物多様性

環境保全ボランティア参加者の声

ミヤマキリシマの保護に取り組んでいます

九重の自然を守る会
副会長

ふな っ たけ し
船津 武士さん

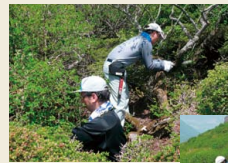


くじゅう連山の一つである平治岳^{ひいじだけ}(大分県)は、ミヤマキリシマの群生地として知られています。特に、5月下旬から6月中旬の満開時には、山がピンクに染まりとても感動します。しかし、近年はノリウツギなどの木に覆われ、ミヤマキリシマの開花量が減少していました。

かつての景観を取り戻そうと、2011年から九州電力さんと地元関係者の皆さまが協力し、ミヤマキリシマの日当たりを遮る木の伐採をするなど本格的な保護に取り組んでいただいています。おかげで開花量は年々

増えており、かつての景観を取り戻しつつあります。

今後も、生物多様性の保全のためにも、九州電力さんや地域の皆さまと協力してミヤマキリシマを守り続けていきたいです。



ミヤマキリシマの保護の様子



■ 地域における環境活動への取組み

地域の皆さまとの環境コミュニケーションを進めるため、自治体が主催する環境イベント等に参加・協力しています。

環境イベント参加者の声

環境フェスタで省エネ・節電PR

鹿児島お客さまセンター
鹿児島営業所 計画グループ

かわばた だいすけ
川畑 大輔



鹿児島営業所では、2008年から毎年鹿児島市の「環境フェスタ」に参加しています。

このイベントは、地域と行政が協働して環境への関心や意識向上を図ることを目的に毎年開催されています。

当営業所では、「考えてみよう わたしたちのくらしと電気」をテーマに、来場されたお客さまに実際に自転車を漕いでいただき、発電した電気で扇風機を回す体験等を通じて発電の仕組み等を理解してもら

うと同時に、省エネ・節電PRを行っています。特に、自転車発電機の体験は、子供から大人まで大好評で、「電気を作るのって大変だね」という感想もありました。

今後とも環境フェスタに参加し、省エネ・節電を積極的にPRしていきます。



環境フェスタ

～環境月間における取組み～

毎年6月の1か月間は、「環境月間」として全国各地で様々な行事が実施されています。当社においても、エネルギーと環境に関する意識高揚や、お客さまとの環境コミュニケーションの推進を図るための諸行事を展開しています。

2012年度は、「きゅうでん環境月間 エコチャレンジ2012～始めよう！私たちが今、できること。～」をテーマに清掃活動や次世代層向けイベントなどの環境活動を九州各地で実施しました。

WEB 詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) ▶環境月間

■ 清掃活動

事業所周辺の道路や公園、海岸など当社主催の清掃活動を76事業所で実施しました。

また、地元自治体等主催の清掃活動にも35事業所が参加しました。



清掃活動 (鹿児島支社)

■ 次世代層向けイベント

地域の子どもたちを対象にした親子向けの環境教室や発電所構内の農園開放など次世代層向けイベントを25事業所で実施しました。

日向電力所、日向土木保修所、耳川水力整備事務所は、合同で、宮崎県美郷町内の小学生と一緒に、耳川で稚魚放流を実施しました。



稚魚放流 (日向電力所・日向土木保修所・耳川水力整備事務所)

■ 省エネ・節電のお願い

お客さまへの節電のお願いとあわせ、緑のカーテンに活用できるアサガオやゴーヤの種を全事業所で街頭やイベント時に配布しました。

また、自治会などを対象とした省エネ・節電に関する講演会などを9つの事業所で実施しました。



省エネ・節電のお願い (新大分発電所)

環境月間ボランティア参加者の声

森鷗外旧居の清掃ボランティアに参加して

北九州支社
企画・総務部 総務グループ
しも さきのりかず
下崎 紀和



北九州支社では、環境月間行事として、北九州市小倉北区にある市の指定文化財「森鷗外旧居^{*}」の清掃ボランティアを、2010年から毎年実施しています。

ボランティアには毎回約50名が参加し、主に敷地内に茂った雑草の刈り取りを実施しています。あふれる汗をぬぐいながらの大変な作業ですが、苦労した分、作業終了後のきれいな庭を眺めると、とてもすがすがしい気持ちになります。



作業風景

2012年6月に森鷗外の生誕150周年を記念して開催された式典において、北九州支社は、それまでの森鷗外旧居の環境美化への貢献に対する感謝状をいただきました。

これからも文化財の環境美化に貢献するため活動していきます。



感謝状



作業後の集合写真

^{*}：森鷗外が旧陸軍第12師団軍医部長として小倉に赴任していた1899(明治32)年から1年半住んだ家。北九州市が1974年に市の文化財に指定し、1982年に森鷗外が居住した当時の状態に復元されました。

用語集をご覧ください

- ステークホルダー
- 環境月間